

吉野川で遊ぼう！！



柿原堰下流左岸（徳島県阿波市）

こんにちは。川遊び大好きアクティブ系河川管理者「遊び人のM」です。
吉野川で遊ぼう！！では、自ら体験し、川を楽しみ、感じたことを発信します。
第9回は「吉野川カヤック③ 柿原堰から河口（海）まで！」です。



天気よし！風なし！好調にスタート



吉野川でカヤックをしてみたい！と思っても、やるとなるとなかなか難しいのが現実です。
道具一式を揃えられたとしても、川に限らずアウトドアには危険がつきものですし、正しい
知識や準備が必要となります。

気軽に楽しんでみたい！とにかく一度やってみたい！方は、四国地方整備局河川協力団体
第1号のスポーツクラブ「AMEMBO」がカヤック体験を開催しています。子どもから大人
まで、今まで知らなかった水遊びの楽しさを味わえますよ。

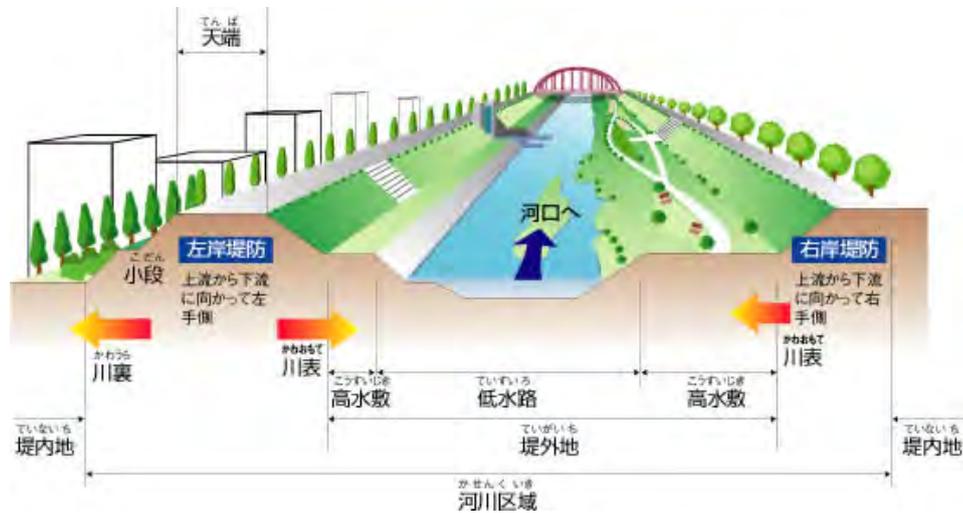
（吉野川河畔ふれあい広場（美馬市） <http://amembo.net/> TEL0883-55-2105）

他にも、いろいろな団体がカヤック体験、水遊び体験を企画していますので、インターネ
ットなどで探して、今年の夏は吉野川カヤックにチャレンジしてはいかがでしょうか？

いよいよ吉野川カヤック最終章。

柿原堰下流左岸からのスタートです。

左岸？右岸？ 北岸？南岸？



ポイント

上流から下流を見て（川が流れている方向を向いて）右が右岸、左が左岸。簡単です。

「柿原堰下流左岸集合！」と言われて、左右岸を間違えると、対岸でひとりさみしく待つこととなります。川でかっこよく遊ぶためにも左岸・右岸を覚えましょう。

吉野川では「北岸（＝左岸）」「南岸（＝右岸）」と使う人がいます。これは東西に長く、まっすぐ流れる吉野川ならではの呼び方です。

3月末、菜の花満開の中、柿原堰（阿波市）から河口までの24 kmを漕いできました。今回のメンバーも、まじめな友人N、自由人Wの3人。少し肌寒かったですが、水は透きとおりで、天気良しでした。一年で最も川の水が澄んでいるのは冬の季節です。

※体験レポート（まじめな友人N）

吉野川をカヌーで河口まで制覇する夢を達成することが出来ました。

カヌーを始めて、

平石川、地藏寺川、汗見川と吉野川の上流区間。

早明浦ダム直下から大歩危、小歩危の激流区間を漕ぎ。

そして、今期の池田ダムから河口までの雄大な区間と吉野川を一通り漕ぐことが出来たということで、とても達成感があります。

今回の第十堰から下流は本当にきつかったです。流れが激しくないのでのんびりとして良いのでは？と思うかもしれませんが、進まないんです。休憩していると風で上流に戻されるし、漕いでも漕いでも遠くの橋が近づいて来ません。他の川とはスケール感が違いますね。

他にも第十樋門から旧吉野川に流れる水の水速に驚いたり、エイが



泳いでいたり、鮎の稚魚が元気に魚道を上っていたりと楽しみながら下りました。



一面に咲く菜の花も気分が上がります。河口では海からの波乗りも楽しめました。

そしてやっと到達したゴールの感動を味わうどころか足腰がフラフラで笑っちゃいました。

誘ってくれた遊び人の M さん、一緒に漕いでくれた仲間へ感謝です。

そして吉野川ありがとう。

まじめな友人 N は、カヤックの時は本当にまじめです。

カヤック初心者連れて川にでると、カヤックの準備から、パドルの使い方、沈したときの脱出方法まで、丁寧にやさしく指導します。仕事もまじめにしてくれると助かります。

✪吉野川カヤックダウンリバー報告書（自由人 W）

コース：柿原堰～吉野川河口

タイム：9:00～16:30

「いつかは池田から徳島まで漕いでみたい・・・。」
徳島で生まれ育った人間として、一つの夢が叶いました。
今回の企画がなければ、きっと実現できないままだったことでしょう。



残暑の残る秋から漕ぎ始めた池田ダムからの吉野川ダウンリバーは、肌寒い3月にゴールである河口までたどり着きました。

今回のスタート地点の柿原堰に集合し、いつものようにトロ場漕ぎを開始しました。カヤックから眺める風景はどこまでいっても土手ばかりで、進み具合の手がかりは、吉野川に架かる橋の数を数えることぐらい。



第十堰では、ピクニックしている家族や散歩しているご老人とカヤック談義をしつつ、お昼ご飯を食べ、後半戦へ。

びっくりしたのは、第十堰下流の川の水を舐めるとしょっぱかったこと。河口から14kmの間がほぼ海水だったことです。今年の夏は、吉野川下流で気軽に海水浴はいかがですか？

吉野川下流も風景に変化はなく、スジアオノリの養殖ネットを眺めながらゴールを目指す。最後の目印である白鷺大橋を超えた先に憧れ

の大海原が・・・と思っていたら、高速道路の橋桁を打ち込む工事船舶がたくさん。

ゴールは見えているのに、引き潮による中州に行く手を塞がれ、最後の最後まで遠回り。

やっとこさたどり着いた時には、心はヘトヘトで身体はベトベトでした。

このような貴重な経験を与えていただきました国土交通省徳島河川国道事務所のM様、漕ぐときには、いつも温かく誘ってくれるN様、本当にありがとうございました。

いつか開催されるであろう「第2回吉野川ダウンリバー」への参加は考えさせて下さい(笑)



合計4日間で吉野川の国管理区間（池田ダムから河口）をカヤックでくだりました。がんばれば3日でもなんとかなる距離です。下流に行くほど、川の流れがゆっくりになるので、のんびりくだるなら4日でもよい感じです。

今回のコース24kmは、経験者3人で休みなく漕いで7時間半。途中3人とも無口になりました(笑)。第十堰より下流になると、川幅が1kmくらいあるので、ちょっと対岸を見たいと思っても、とても行く元気がありません。シーカヤックとかファルトボートと呼ばれるツーリング用のスピードが出るカヤックがより楽しめると思います。

今回で、吉野川の国管理区間カヤックは終了です。十分堪能しました。旧吉野川や今切川、新町川も楽しそうですね～



「吉野川は楽しい！！」

4月より遊び人から賢者になるために冒険に旅立つことになりました。(ドラクエIII参照)

「吉野川で遊ぼう！」は、冒険先から書いてもいいよ。

とのことなので、今年度もどんどん遊びます！